

市役所建替えなどのお知らせ

**市役所と公会堂が
新たな一歩を踏み出します**

市役所と公会堂は、多くの市民が利用する施設ですが、築50年以上が経過し、建物は老朽化しています。また、近年は予想し得ない地域で大地震が発生し、大地震は「いつ」「どこで」発生してもおかしくない状況にあるとの認識が広がっています。平成21年度に行った耐震診断では、大規模な地震に耐える強度が不足していることが判明しました。

でも建物の寿命そのものを延ばすことはできません。また、市役所は建物が狭く、窓口が分散していて、公会堂はトイレや楽屋の不足、エレベーターがないなどの不便さがありますが補強では解消できません。そこで、市では平成23年2月に、市役所は「建替え」、公会堂は「その機能の確保の方法について、引き続き検討する」という方針を定め、その建替え場所などについて検討をしてきました。今回、市民の皆さんのさまざまなご意見を踏まえ、市役所の建替え場所と、公会堂、公会堂前公園について方針をまとめました。

市役所建替えなどに関する これまでの主な取り組み

- 平成3年度
市庁舎建設整備基金の設置
- 平成7年度
市庁舎・病院建設特別委員会(市議会)
- 平成21年度
市役所・公会堂・市民会館の耐震診断の実施
- 平成23年2月
耐震化の方針として市役所は「建替え」
公会堂は「その機能の確保の方法について引き続き検討する」考えを表明
- 平成23年度
市庁舎建替に関する市民懇話会、公会堂等文化施設あり方検討委員会の設置。市民アンケートの実施
- 平成23～24年度
市庁舎建設特別委員会(市議会)

これからもたくさんのご意見をいただきながら
「皆さんに親しまれる施設」「確かな災害対応の拠点」
になるよう取り組みを進めます!!

新しい市役所

《建替え場所》

公会堂と公会堂前公園敷地

《新たな市役所の規模》

建物は1棟を基本とします。

延べ床面積は4万5,000㎡～5万㎡程度(駐車場を除く)を想定

※規模・事業費は現時点の想定。引き続き、基本計画策定や設計作業の中で見直しを行っていきます。

※現在の市役所(本館・別館・周辺庁舎)は約3万2,000㎡

《建設事業費》

200億円を想定

※平成3年度から基金の積み立てを開始し、今年度末で110億円となる予定です。今後さらに積み立てを行い、不足分は市債の借り入れで賄う予定ですが、今後、建設費の縮減を検討しながら、将来の市民負担をできるだけ少なくしたいと考えています。

《建設スケジュール》

平成25年度に新たな市役所の基本計画を策定し、平成26年度中に設計に着手、平成28年度中に着工し、平成31年度中の完成を目指します。

公会堂にかわる新たな文化施設

《今後の方向性》

公会堂は解体し、新たな文化施設により発表・鑑賞など市民の芸術文化活動の拠点としての機能を確保。規模は1,000席程度を想定しています。

《建設場所》

現市役所敷地での整備を念頭に考えます。

《供用時期》

現市役所敷地に整備するとした場合は、平成34年度中の完成を見込んでいます。

公会堂前公園については現在の市役所敷地での確保を行います。

総合企画室
文化振興課

☎829・1111
☎842・3782